

# MOVEit Transfer の導入オプション

クラウドを活用したい場合、MOVEit マネージド・ファイル・トランスファー(MFT)ソフトウェアを社内で運用したい場合など、それぞれのニーズに応じた、MOVEit Transferの導入オプションをご参照ください。

## 企業のニーズに合致する柔軟な導入

MOVEit Transfer をご利用いただく場合、3つの異なる導入モデルを用意しています。予算、リソース、拡張性制限(インフラストラクチャ、人的リソースなど)などの条件を考慮して、ニーズに最も適した導入モデルを選択することができます。

## 導入オプションの概要

それぞれの導入の構成においては、MOVEit Transferインスタンスのインフラストラクチャ要件を管理するためのサポートレベルが異なります。

## MOVEit 導入オプション

### MOVEit オンプレミス

#### On-Premise (On-Prem)

IT部門が新規・既存の  
インフラストラクチャを  
すべて管理する

プログレスからMOVEit  
ソフトウェアを購入、  
必要に応じて自社で  
インストール/アップグレード/  
パッチ適用を行う



#### オンプレミス導入: "MOVEIT ON-PREMISE"

MOVEit MFT ソリューションの導入に関して  
完全に管理(インフラとMOVEit)

次のような場合に最適:

- ▶ 既存の環境を利用
- ▶ パブリッククラウドの使用に制限があり、閉じたIT環境内での運用が必要
- ▶ 国内にクラウド・ベースのアプリケーションを設置する必要がある

### MOVEit オン Azure

#### Infrastructure as a Service (IaaS)

Microsoft Azure上の  
仮想インフラストラクチャ

プログレスからMOVEit  
ソフトウェアを購入、  
必要に応じて自社で  
インストール/アップグレード/  
パッチ適用を行う

導入する拠点を管理する

ビジネス・ニーズに基づいて  
インフラストラクチャの  
リソースを調整



#### IAASとして導入: "MOVEIT ON AZURE"

インフラとしてパブリッククラウド・リソース  
MOVEit を完全にコントロール

次のような場合に最適:

- ▶ Microsoft Azure/パブリッククラウドを利用してインフラを管理および維持
- ▶ Azureデータセンターの近くにMOVEit Transferインスタンスを配置する柔軟性が必要
- ▶ 業務状況に応じてコンピュータ・リソースの消費を調整する必要がある

### MOVEit Cloud

#### Software as a Service (SaaS)

フル・マネージド・サービス  
(プログレスが  
インフラストラクチャとMOVEit  
ソフトウェアを管理)

GDPR 対応可能

PCI 認証済み

HIPAA 認証済み

SOC 2 認証済み

99.9% の稼働時間

ビジネス・ニーズに基づいて  
使用量を調整



#### SAASとして導入: "MOVEIT CLOUD"

完全に管理されたクラウド・ベースのサービス

次のような場合に最適:

- ▶ ITリソースのオーバーヘッドを削減する手段として、ソフトウェアアプリケーションをクラウドに移行
- ▶ MFTソリューションのセキュリティとコンプライアンスの実施を外部委託したい
- ▶ 業務状況に応じてMFTソリューションの消費とコストを調整する必要がある

## MOVEit は最適のマネージド・ファイル・トランスファー・ソリューション



### セキュリティ

機密データが操作されないように、また不適格者の手に渡らないように保護

- › 暗号化(転送中および保管中)
- › データ整合性チェック
- › 否認防止



### 視覚化とコントロール

データがどこにあるか、誰がアクセスしているかを把握

- › 充実した業務コントロールとポリシー管理
- › 警告とダッシュボード
- › アクセスや保存期間に基づきファイル削除をスケジュール



### コンプライアンスと監査

規制コンプライアンスのため、データ損失/改ざんから保護

- › AES256ビット暗号で保存ファイルを保護
- › 改ざん防止監査ログとレポート
- › データ損失なし



### 信頼性

データを確実に配信;  
業務拡張に適応できる柔軟なアーキテクチャ

- › 高可用性と障害復旧のための設定
- › パフォーマンス向上のための拡張性
- › 保証された配信



### 自動化

業務処理の効率化のためにタスクをスケジュール

- › スクリプト記述による人的ミスを回避
- › 組織独自の業務処理に基づいてカスタマイズ
- › 承認された受信者への確実な配信のため、ワークフローの改善、追跡、管理



詳細は、<https://www.ipswitch.com/jp/moveit> をご覧ください。